

災害廃棄物の受け入れ検討状況について

資料 7-1

被災地では、災害廃棄物の処理について、再生利用や仮設焼却炉の設置により処理を進めていますが、処理能力が不足していますので、全国での広域的な協力が求められています。

本市では災害廃棄物の早期処理が被災地の復興に欠かせないと判断から、受け入れに向けた検討を行っています。

1 受け入れ検討の経緯

- H23.11 : 「放射能濃度が不検出を前提に受入検討中」と国に回答
- H24.2 : 「受入基準をクリアランスレベル（100 ベクレル）で検討」及び「新田清掃センターと亀田清掃センターを第1候補」と議会で発表
- H24.3 : 新潟市議会で「災害廃棄物の積極的な受け入れに向けた準備を進めるよう市に求める決議」を可決
- H24.3.31 : 5市長（新潟、長岡、三条、柏崎、新発田）による共同記者会見で受け入れの基本指針を示し、本格的な受け入れに向けた検討の準備をすることを表明（基準：1キログラム当たりの放射能濃度が100ベクレル以下の木質系チップ）
- H24.7.26 : 住民説明会を開始（～9.9まで）
- H24.7.27 : 新潟県と5市で「試験焼却についての合意」

2 住民説明会の概要

- (1) 期間 : 平成24年7月26日(木)～9月9日(日)
- (2) 対象範囲 : 焼却・埋立施設周辺の1km以内は自治会単位、1～2km以内はコミ協単位
- (3) 開催回数 : 49回（全市民対象説明会(9/2)1回含む）
 - その他 区自治協議会 : 3回 農業委員会 : 2回
 - J A関係 : 3回 市民団体等 : 2回

○ 参加状況

・延べ1,195人（平均24人／回）

施設	開催回数	参加人数		
		男	女	計
亀田清掃センター周辺	23	403	123	526
太夫浜埋立処分地周辺	8	114	22	136
新田清掃センター周辺	4	125	34	159
赤塚埋立処分地周辺	13	232	57	289
全市民対象説明会	1	60	25	85
合計	49	934	261	1,195

○ 説明会でのアンケート結果

・回収数：957枚（回収率：80.1%）

- (1) 性別
 - 男性:77.4%、女性:21.1%、無回答:1.5%
- (2) 年代
 - 10代:0.2%、20代:1.0%、30代:6.6%、40代:8.5%、50代:16.3%、60代:39.1%、70代:23.7%、80代:2.8%、無回答:1.8%
- (3) 市説明の理解度
 - よく理解:13.8%、ある程度理解:53.5%、分からない:17.0%
 - その他:5.0%、無回答:10.7%
- (4) アンケートのコメントからの分析

	受け入れ賛成			受け入れ反対			コメントなし 判断不可等
	明確な賛成	賛成的	合計	明確な反対	反動的	合計	
全体（49回）	7.8% (18.6%)	7.9% (18.8%)	15.7% (37.4%)	10.6% (25.0%)	15.9% (37.6%)	26.5% (62.6%)	57.8%
亀田清掃センター周辺	12.2% (29.1%)	11.0% (26.4%)	23.2% (55.5%)	7.1% (17.0%)	11.5% (27.5%)	18.6% (44.5%)	58.2%
太夫浜埋立処分地周辺	6.3% (25.0%)	8.1% (32.2%)	14.4% (57.2%)	5.4% (21.4%)	5.4% (21.4%)	10.8% (42.8%)	74.8%
新田清掃センター周辺	2.4% (5.3%)	5.6% (12.3%)	8.0% (17.6%)	12.1% (26.3%)	25.8% (56.1%)	37.9% (82.4%)	54.1%
赤塚埋立処分地周辺	4.2% (9.1%)	5.0% (10.9%)	9.2% (20.0%)	16.7% (36.4%)	20.0% (43.6%)	36.7% (80.0%)	54.1%
全市民対象説明会	4.3% (7.4%)	0.0% (0.0%)	4.3% (7.4%)	19.6% (33.3%)	34.8% (59.3%)	54.4% (92.6%)	41.3%

※（ ）内は「コメントなし・判断不可等」を除いた割合